

TAKURA WATCHING

今月も町の話が盛りだくさん！



水に対する意識を高める

10月17日(木)、西小学校4年生を対象に合の川水防センターで水防学校が開催されました。児童たちは、利根川上流河川事務所と板倉消防署の協力で、日本の川の特長や利根川の歴史などを学び、降雨体験車による降雨体験や土のうを使った簡易水防工法のやり方を学びました。



板中生が職場体験を実施

10月18日(金)、板中2年生の北山千真君と清水楓君が町役場の職場体験の一環で、広報いたくらの取材を体験しました。

2人は、館林厚生病院で看護師の職場体験をしている同級生を取材。職場体験中の同級生に話を聞く役割と、その記録写真を撮る役割に分かれて取材体験をしました。



ハロウィン10年目！

11月2日(土)、NPOわいわいネットワーク主催のハロウィンパレードが行われました。子どもたちが町を仮装して歩き、お菓子をもらいました。代表の小早川裕子さん(朝日野)は「10年経って町全域から子どもたちが参加してくれるようになりました。皆さんの協力を得て今後も続けたい」と話しました。



板高生が古典芸能に親しむ

11月8日(金)、板倉高校の開校62年記念式典が中央公民館で開催されました。

これに合わせて、古典芸能鑑賞会が行われました。今年度は鈴々舎馬桜師匠一行を招いて、古典落語、都々逸、現代落語を生徒たちが鑑賞しました。噺家たちの身振り手振りを交えた話で会場は笑い声に包まれました。



暴れ川三兄弟が集合

11月9日(土)、10日(日)、利根川に学ぶ渡良瀬大会in群馬県板倉町が開催されました。この催しは利根川・渡良瀬川合流域の水場景観として重要文化的景観に選定された板倉町に、「暴れ川三兄弟」として知られる利根川(坂東太郎)、筑後川(筑紫次郎)、吉野川(四国三郎)の流域にあるまちづくり団体のかたを板倉町に招き、それぞれの活動に学びながら利根川流域の人々の暮らしと水辺のあり方、その展望などについて議論を深めるために行われました。

参加者は渡良瀬遊水地や水塚などを見学した後、東洋大学板倉キャンパスで行われたシンポジウムに参加。徳島市から参加した吉野川水系の河川団体理事長の中村英雄さんは「一人の百歩より百人の一步を目指す」と話し、日頃の清掃活動の様子や阿波踊り水上イベントの様子などを紹介しました。

シンポジウム終了後には、利根川をモチーフにした7つの楽章からなる水の交響詩「利根川322」コンサートが開催されました。



文化と芸術の秋

11月16日(土)、17日(日)、中央公民館で第34回町民文化祭が開催されました。初日の式典では、図画、音楽、書写などの分野で優秀な成績をおさめたかたを対象に文化功績者表彰が行われました。続いてステージ上では日頃の練習の成果を発揮して、さまざまなジャンルの発表が行われました。各階のロビーや会議室などでは、陶芸や絵画、書道、絵手紙などの作品が展示されました。

